

“天竜”のブランド化に向けて取り組んでいます

西部農林事務所天竜農林局では、“天竜”の地域ブランド化に向けた取組を進めています。

1 趣旨

天竜には、農林産物や自然、文化・歴史、それを支える人たちなど様々な魅力があります。

その魅力を発信し、天竜の良さを多くの人に知ってもらうことで、地域としての価値を高め、あわせて農林産物の価値も高めていきます。

近年、デパートなどで北海道展などが開催されると多くの人が集まり、北海道の農林産物や加工品などがよく売れています。これは北海道のものが品質が良いということもありますが、「北海道」という名前のもつ力も大きいと考えられます。

北海道などと同様に“天竜”の持つ魅力を多くの人に知ってもらうことで、天竜の価値を高め、「天竜のものなら信頼できていいね」というように天竜の農林産物全体の価値も合わせて高めていきたいと考えています。

2 これまでの取組

(1) 広報委員会の立ち上げ

令和3年7月、天竜農林局内に若手職員を中心に「天竜農林局広報委員会」を立ち上げました。

広報委員会は、月1回開催し、今後の広報戦略、天竜の魅力の調査、広報素材の収集、「山のお茶の飲み比べ」、Instagramへの天竜の魅力の投稿、地域の様々な団体との意見交換会「サロン・ザ・天竜」の開催など進めました。



天竜農林局広報委員会メンバー

(2) 山のお茶の飲み比べ

天竜のお茶を PR するには、まず自分たちが天竜のお茶の魅力をしっかり知る必要があるということから、天竜と県内の天竜以外の産地のお茶など 10 種類のお茶の飲み比べを行いました。

当日は、農林局職員に加え、浜松市の山里いきいき応援隊の方たちなどの参加をいただき、お茶のインストラクターの資格を持つ職員からお茶の入れ方について研修を受けた後、お茶の飲み比べを行いました。

天竜のお茶は、他の産地のものに比べ味に深みがあり、まろやかであるという感想が多く聞かれました。



山のお茶の飲み比べ（令和3年11月9日 実施）

(3) サロン・ザ・天竜の開催

天竜のブランド化を進めるには、県や市など行政のみで魅力の情報発信をしても限界があります。そこで、天竜を盛り上げようと地域で取り組む様々な団体が一堂に会して連携して取り組みを進めるよう意見交換会「サロン・ザ・天竜」を開催しました。



サロン・ザ・天竜の開催（令和4年3月24日 開催）

サロン・ザ・天竜メンバー

	団 体 名
1	静岡県グリーン・ツーリズム協会北遠支部
2	県立天竜高等学校
3	遠州中央農業協同組合
4	天竜区観光協会
5	一般社団法人 天竜建設業協会
6	天竜商工会
7	天竜浜名湖鉄道（株）
8	天竜林材業振興協議会
9	天竜材水平連携協議会
10	静岡新聞社天竜支局 天竜支局長
11	中日新聞天竜通信部
12	浜松市天竜区役所（まちづくり推進課）
13	静岡県西部農林事務所天竜農林局（天竜農林局広報委員会）

(4) インスタグラムへの投稿

広報委員会では、天竜の魅力情報を発信するため、天竜農林局広報委員会としてインスタグラムを開設し、天竜農林局職員の協力のもと収集した300枚の地域資源の写真を中心に、週1回程度投稿しています。フォロワー数406。（令和4年8月31日現在）

「天竜農林局」で検索してください。



フォローと、いいね、をお願いします！

